

報道機関各位

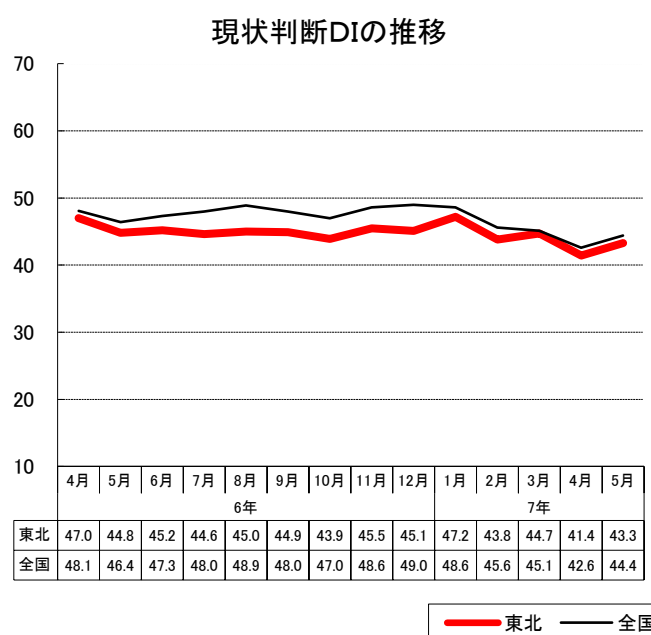
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和7年5月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター(会長:増子 次郎 東北電力株式会社 取締役)は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和7年5月 東北分(東北6県)」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

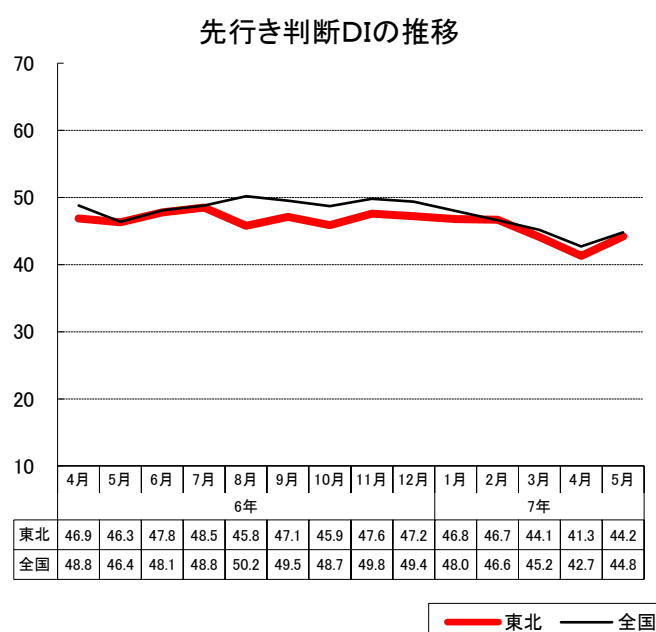
(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「43.3」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+1.9ポイント上昇した。



(2) 先行き判断(2～3か月先の見通し、方向性)

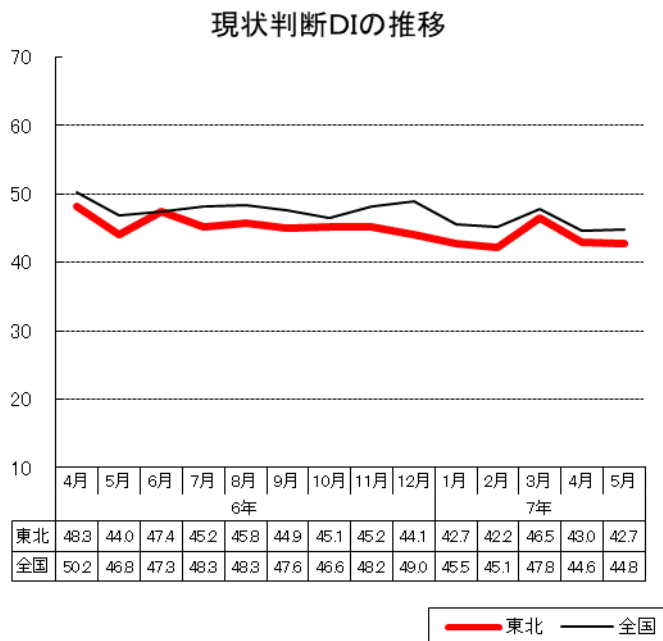
先行き判断DIは「44.2」と6か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.9ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「42.7」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.3ポイント低下した。



○家計動向関連…スーパー、一般小売店、コンビニ等の業種でDIが前月を下回ったが、乗用車・自動車備品販売店、衣料品専門店、旅行代理店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「43.8」(+1.0)と、2か月ぶりに前月を上回った。

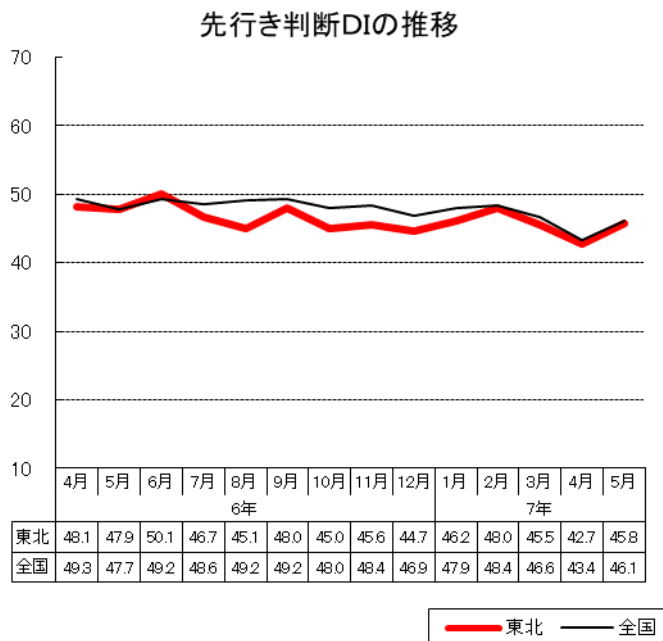
○企業動向関連…輸送用機械器具製造業、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を上回ったが、建設業、金融業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「42.1」(▲2.1)と、前月を下回った。

○雇用関連…DIは「37.5」(▲4.2)と、2か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断(2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「45.8」と3か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.1ポイント上昇した。



○家計動向関連…一般小売店、衣料品専門店、旅行代理店等の業種でDIが前月を下回ったが、スーパー、百貨店、コンビニ等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.9」(+3.6)と、3か月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…建設業、金融業、農林水産業等の業種でDIが前月を下回ったが、一般機械器具製造業、広告代理店・広告業協会、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.4」(+1.8)と、3か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「45.8」(+2.7)と、前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	6年										7年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北現状	48.3	44.0	47.4	45.2	45.8	44.9	45.1	45.2	44.1	42.7	42.2	46.5	43.0	42.7	
家計動向関連	47.2	42.7	46.7	44.1	45.0	42.9	43.5	45.4	45.2	42.4	42.3	46.9	42.8	43.8	
企業動向関連	50.0	48.1	50.0	50.6	47.4	50.0	51.3	45.5	43.6	43.6	44.9	44.2	44.2	42.1	
雇用関連(参考)	51.3	43.8	46.3	41.3	47.5	46.3	42.5	43.8	38.8	42.5	36.3	48.6	41.7	37.5	

（２）先行き判断D I

	6年										7年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北先行き	48.1	47.9	50.1	46.7	45.1	48.0	45.0	45.6	44.7	46.2	48.0	45.5	42.7	45.8	
家計動向関連	48.0	47.0	49.8	46.5	44.3	47.1	43.1	46.2	44.8	45.5	47.6	45.4	42.3	45.9	
企業動向関連	50.7	52.6	54.5	50.6	50.6	50.6	49.4	44.2	44.2	47.4	48.7	46.8	43.6	45.4	
雇用関連(参考)	43.8	43.8	43.8	40.0	38.8	47.5	47.5	45.0	45.0	47.5	48.8	43.1	43.1	45.8	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和7年5月25日～31日

回答者数 172/189 名、回答率 91.0%（全国 1,808/2,050 名、88.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：木村 和也）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

＜別 紙＞

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（百貨店）…物産、美術等の催事強化により、来客数が伸びている。また、売場のリニューアル効果により、婦人衣料品、化粧品等の売上が伸びている。

（衣料品専門店）…天候は不安定だが、夏物をまとめ買いする客が来店している。ただし、物価高や収入の伸び悩みで来店を控えている客もいる。

（その他小売[ショッピングセンター]）…レジ通過客数は前年比 106%と伸長している。

（旅行代理店）…3 か月前と比べて、海外旅行に関する問合せや申込件数が増えている。来店客の関心や相談の様子から、旅行に掛ける予算が増加していると考ええる。

（設計事務所）…物価、人件費高騰のため官公庁の発注件数は減少している。一方、予定していなかったが成約まで進んでいる民間案件がある。内容は木質化、ZEB 関連、HACCA P 対応施設等、近年課題となっている業務が多い。

○「変わらない」

（商店街）…来街者数は天候に恵まれ増加したが、売上は物価高騰の影響で横ばいとなっている。

（コンビニ）…前年比では来客数が 2 %ほど減少しているが、客単価は物価上昇によりアップしている。トータルとしては余り変わらない状況である。

（乗用車販売店）…生産数が一定程度回復し、登録台数も安定してきた。ただし、物価上昇の影響は依然大きく、受注の伸びは芳しくない。

（一般レストラン）…県内や関東、関西からの来客数が少し増えている。しかし、地元客の来店頻度が落ちているため、全体的にみると変わっていない。

（都市型ホテル）…インバウンドの予約が鈍化する時期である。

（観光名所）…来客数は減っているが、客単価の上昇により何とか売上を維持している。買い控えもみられるが、まとめ買いをする客もいるため、客単価が上がっている。

（農林水産業）…物価高の影響は余りみられない。

（輸送用機械器具製造業）…受注、売上が計画値まで届いていない。電子デバイス関連事業は計画を達成しているが、半導体関連事業の売上が計画に届いておらず、全体の業績に悪影響を及ぼしている。

（広告業協会）…物価上昇で節約志向が更に高まり、消費マインドが冷え込む状況下で、販売促進費を増やす企業は少ない。広告業界の実績は横ばいである。

（経営コンサルタント）…米を始めとする食品の物価高騰により、消費者の生活防衛意識が高まっている。

（その他非製造業 [飲食料品卸売業]）…食品の値上げが続いているが、特売のカップ麺の動きが良く、受注量、販売量共に前年をやや上回っている。

（人材派遣会社）…採用ニーズを充たしていない企業が多く、中堅企業では採用しづらい状況が続いている。求人数が多いことがその表れである。特に飲食業や小売業、営業職の募集では応募数が非常に少ない。よって、景気が良い状況は変わらない。

○「やや悪くなっている」

(一般小売店[酒])…個人消費に関しては、特に生活に直結する品の物価高に対する懸念から、節約志向が一層強くなっている。また、客先の飲食店では、単価が安いランチの客は例年並みだが、ディナーは平日の予約がないところも少なくない。ディナーに客が入らないと酒類は厳しい。全体的に販売量が落ちている。

(スーパー) …米の売上が前年比 200%と大きく伸びている反面、青果、鮮魚、精肉、総菜の売上が落ち始めている。家計支出のバランスを取っているものとみている。

(その他サービス[寮管理]) …物価の上昇が続き、実質賃金が下がっている。景気が良いとはいえない。

(出版・印刷・同関連産業) …印刷物の需要が減っている。

(金融業) …春祭りシーズンの終了でインバウンド需要が一息つき、米などの物価上昇も続いている。また、米国の関税政策の輸出産業への影響が懸念されるため、新規商品開発や設備投資の気運は盛り上がっていない。

(職業安定所) …有効求人数は減少傾向、有効求人倍率は低下傾向にある。物価高の影響から経営が行き詰まり、企業整理を行う中小企業もみられる。

○「悪くなっている」

(建設業) …予定していた案件の受注契約が遅延している。

(新聞社[求人広告]) …求人広告の数が減り、今月は2件しかない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(コンビニ) …夏のイベント開催に加え、天候も例年より暑くなるとの予報で、来客数は増加するとみている。

(乗用車販売店) …7月頃からオーダーを再開できる車が2車種ほど増えるため、少し上向くとみている。

(一般レストラン) …予約の入り具合がコロナ禍の前に近くなっている。客の動きが良いため、やや良くなるとみている。

(都市型ホテル) …インバウンド及び夏休みの国内旅行の先行予約が好調である。

(経営コンサルタント) …政府が言う備蓄米の店頭価格 2000 円が実現し、それをきっかけに消費の安心感が広がることを期待している。

(人材派遣会社) …特に専門職の採用は動きが良く、条件を満たす求職者を確保できれば支援数の増加につながる。ただし、求職者の動きに左右されるというリスクもある。

○「変わらない」

(百貨店) …年金や物価高の話題が連日ニュースで取り上げられているため、消費マインドは更に低下していく。お中元は送り先の絞り込みやギフト自体の取りやめなどが予想され、百貨店のメインターゲットであるシルバー層の消費は更に鈍くなるとみている。

(スーパー) …備蓄米の需要の高まりからみても、消費者の低価格志向は続くとみている。

(旅行代理店) …当社契約宿泊施設のこの先3か月の先行販売額は、前年とほぼ変わらない。

(食料品製造業) …支払いが高額と低額の客で2極化している。また、店舗間でも売上伸長と停滞の店舗がはっきりと分かれている。米や資材の価格高騰等により、価格改定とコストカットの問題が常に付きまとう。

(一般機械器具製造業) …米国の関税政策の影響で、客が設備投資に慎重な姿勢を見せている。

(金融業) …夏祭りが近づくなか、地域やインバウンドの盛り上がりが見込める。しかし、国内外の経済政策が地域経済に与える影響を考えると、現状程度の景気水準で推移するとみている。

(広告業協会) …先行きの経済環境が不透明であり、必要最低限の販売促進費にとどめる企業が多い。広告業界の業績は当面微減で推移する見込みである。

(新聞社[求人広告]) …広告に少しずつ動きが出ているが、景気は当面変わらないとみている。

(職業安定所) …新規求人数の推移から、有効求人数は前年と同程度で推移する見込みである。

○「やや悪くなる」

(衣料品専門店) …物価上昇が続く、特に食品関連の影響が大きいと、消費者は買物にますます慎重になる。

(高級レストラン) …例年、夏から秋にかけては低い水準で横ばいが続くため、現状よりやや悪くなるとみている。

(農林水産業) …今年は果樹を中心に、開花の時期に低温だったためか結実が悪い傾向にあり、収量が減る可能性がある。価格が大幅に上がることになれば、消費にも影響が出る。

(建設業) …案件契約に至るまでの金額交渉等で遅延するケースが増えている。受注契約には至るものの、これまでより期間売上が低下する可能性が高くなる。

○「悪くなる」

(一般小売店[医薬品]) …商品の価格上昇は、これ以上はないと思ったところから更に続いている。米の価格も、今以上には上がらないとは言い切れない。米価が落ち着かなければ、生活防衛意識は更に強くなることが予想される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上